

子ども-地域-研究者が共創する 未来のサニテーション

Co-creating future sanitation systems with children, local communities and researchers

現在、23 億人 (世界の人口の 3 分の 1 弱) が設備の整ったトイレを使えず、7 億人もの人々が野外で排泄をしています。

国連の持続可能な開発目標 (SDGs) では「安全な水とトイレを世界中に」(目標 6) と謳われています。しかし、「トイレを設置すれば問題解決」といった簡単な話ではありません。

トイレが使えるようになったとしても、し尿を貯めて、安全に運び、適切に処理・処分されなければなりません。また、「トイレがあること」と「トイレを適切に使ったり、維持管理したりする」のは別の問題です。

サニテーションは社会に埋め込まれており、**トイレを正しく使う文化、習慣の問題**なのです。

アフリカ、東南アジアの都市スラム、日本の山村において、子ども、地域社会、研究者と一緒にサニテーションを創っていく取り組みを紹介します。

サニテーションとは

一般的に、ヒトのし尿を人びとの生活の害にならないように処理するしくみを指しますが、私たちはこれを、価値を生み出すしくみに転換する取り組みをおこなっています。



講師

やまうち たろう
山内 太郎 教授

総合地球環境学研究所 / 北海道大学大学院保健科学研究院
「サニテーション価値連鎖の提案 - 地域のヒトによりそうサニテーションのデザイン」プロジェクトリーダー

聞き手

くまざわ てるかず
熊澤 輝一 准教授
総合地球環境学研究所

2022 年 1 月 11 日 (火)

18:30-20:00 (開場 18:00)

ハートピア京都 3F 大会議室
京都市中京区竹屋町通烏丸東入る清水町 375 番地

交通アクセス

京都市営地下鉄烏丸線「丸太町」駅下車 5 番出口すぐ
ご来場に際しては市バス・地下鉄等公共交通機関をご利用ください。



お申し込み

聴講希望の方は、開催日・お名前(ふりがな)・連絡先をご記入のうえ、メール・電話・FAXにてお申し込みください。



大学共同利用機関法人 人間文化研究機構
総合地球環境学研究所

広報室

E-mail: shimin-seminar@chikyu.ac.jp

TEL: 075-707-2128 FAX: 075-707-2515

※12月29日～1月3日は一斉休業のため業務を休止いたします。
※新型コロナウイルス感染症の拡大状況によっては中止する場合があります。
※配信用に映像撮影をおこないます。